

松前町

議会だより

No.85

2015年5月1日発行

愛媛県伊予郡
松前町議会

3月定例会



2P 堅実予算 平成27年度予算決定 松前版地方創生を!

8P 委員会ニュース プレミアム商品券の発行は ほか

13P 新企画 町長に聞く

14P 一般
質問

- ・女性の活躍推進に町としての支援は
- ・湧水地公園つなぐ遊歩道、自転車周遊の取り組みは
- ・心に残る 60 周年記念事業を
- ・町制60周年記念を迎え今後の政策は ほか

92億5,617万円

の堅実予算で松前版地方創生を



特別会計77億2,416万円 水道事業会計7億2,486万円

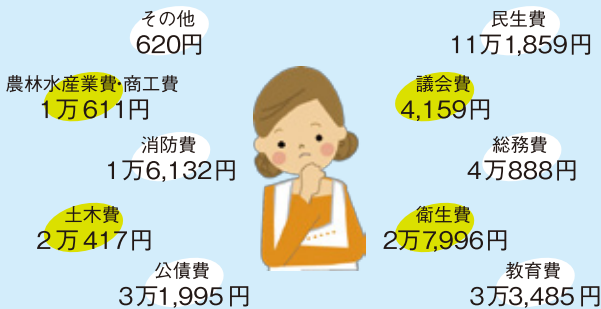
総額177億519万円でスタート

町内の愛媛県警察学校（西古泉）

3月定例会

3月議会定例会は、3月2日から18日までの17日間の会期で開催した。
 予算関連案件は、予算決算常任委員会での3日間の審査を行ない、最終日の本会議で全員一致により可決した。
 今定例会では、報告議案2件、議員提出議案が1件、理事者提出の38件の議案について、慎重な審議の結果いずれも原案どおり可決・同意した。

町民一人あたりの支出額 **29万8,163円**
 平成27年3月末人口 3万1,044人



●平成27年3月末の地方債(借入金)と基金(貯金)の在高状況(一般会計分)

項目	金額	備考
地方債(借入金)在高	108億7,240万円	見込額
	3万5,023円	町民一人あたり
基金(貯金)在高	16億4,684万円	見込額
	5万3,048円	町民一人あたり

支出

人件費、物件費、扶助費の増加や国体施設整備などの大型事業のほか、特別会計への繰出金も財政を圧迫することになり財源不足の要因となっている。
 このため平成27年度は、前年度にも増して既存の経常的経費などを更に創意工夫による節減に努め、選択と集中によって限られた財源を真に必要な事業に重点配分し、効率的に事業展開していく事を重要視した予算編成である。

収入

自主財源の主たる町税は、前年比1.1%の微増で40億8千万円を見込み、消費税率の引き上げに伴い、地方消費税交付金は一定の伸びが予測される。
 反面、普通交付税は、税などの増収に伴い減額が見込まれているため予算を許さない状況となっている。こうした財源不足に対応するため可能な限り地方債を充当するとともに財政調整基金から1億5千万円を繰り入れた当初予算である。



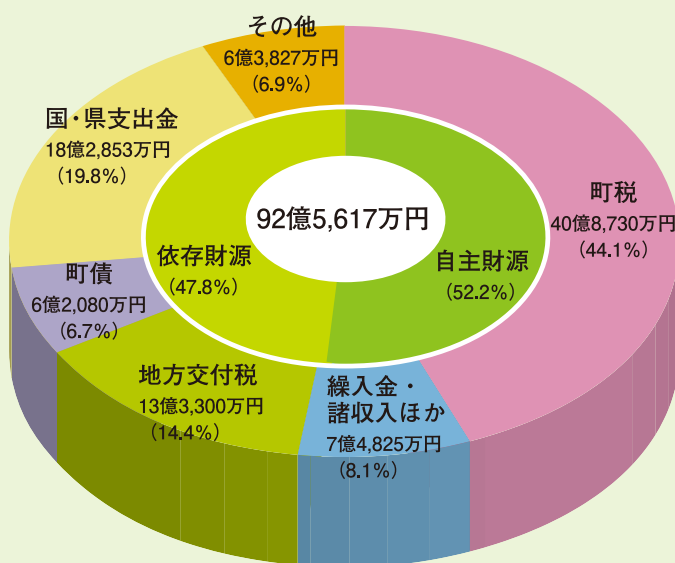
一般会計

27年度予算

前年度より3%アップ

※グラフ中1万円未満は切り捨てて表示しているため、合計が一致しない場合があります。

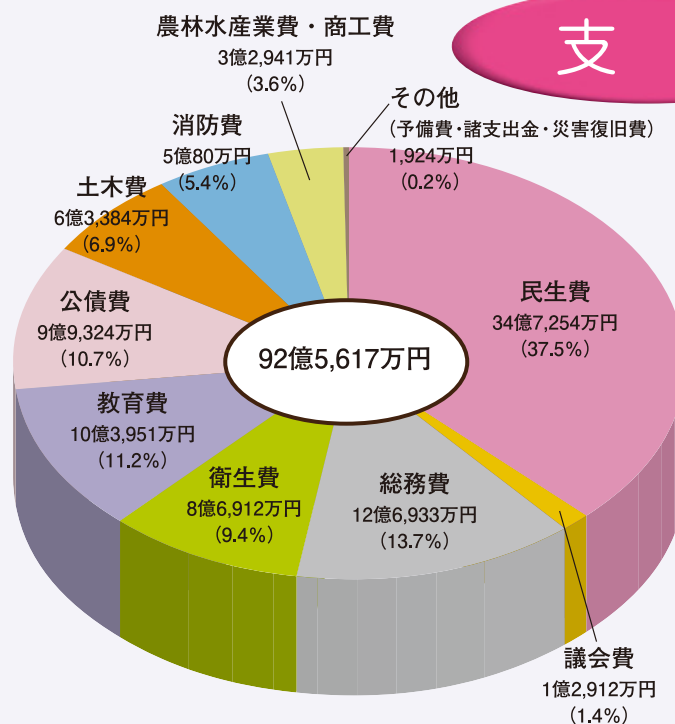
収入



自主財源：町が自前で賄うことができる財源
依存財源：国や県の補助金や借金に頼る財源

町税	住民が納める税金
繰入金	町の貯金を下ろして使う金額
交付金など	消費税やガソリン税などから地方へ配分される金額
地方交付税	自治体運営の均衡を保つため国から配分される金額
国・県支出金	使う目的が決まっている国や県からの補助金
町債	自治体の財源不足を補うための借金

支出



民生費	障がい者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護、福祉医療、国民年金などの事業に要する経費
議会費	議会活動に要する経費
総務費	人事、企画、財政、戸籍、統計や交通安全など、他部門に分類されない事業に要する経費
衛生費	成人老人保健、母子保健、廃棄物処理、公害対策などの事業に要する経費
教育費	学習教育、生涯学習、スポーツ振興などの事業に要する経費
公債費	町債(町の借金)を返済する元利償還金(元金と利子)と一時的な借入をした場合の支払利息
土木費	道路、公園や区画整理などの事業に要する経費。下水道事業特別会計への支出も含む。

～クローズアップ 27年度 どうかわる 松前の暮らし～

(1) 安心・安全・快適な町づくり

- ◇気象観測の水位計、河川監視カメラの設置
- ◇老朽化が進む第4分団消防詰所を集約し新たに整備
- ◇災害対応特殊化学消防ポンプ自動車の更新
- ◇住宅太陽光発電システム設置補助
- ◇伊予地区清掃センター施設耐震化費用負担



(2) 健やかでやさしい町づくり

- ◇障がい者医療の充実
- ◇在宅福祉サービス（配食・健康づくり・生活支援など）
- ◇「子ども・子育て支援新制度」に基づく保育委託
- ◇私立幼稚園教育給付（施設型給付の実施）
- ◇放課後児童クラブ増設（松前小学校、北伊予小学校）
- ◇総合健診、がん検診、特定不妊治療一部助成

(3) 人と文化が輝く町づくり

- ◇学校生活支援員の増員配置
- ◇公民館の耐震診断（北公民館、西公民館）
- ◇教育の町宣言 50周年を記念して松前町誌編纂準備
- ◇松前公園管理（指定管理委託、エアロバイクなど備品購入）



(4) 豊かでにぎわいのある町づくり

- ◇水産業振興対策として船揚場台車の改修
- ◇地場産業推進（愛媛松前町うまいものフェア）
- ◇まさき町産業まつり「たわわ祭」今年も開催
- ◇農業振興（農業施設の長寿命化、経営の安定、改善のための助成）

(5) 飛躍を支える基盤をつくる町づくり

- ◇町民の協力のもと、地籍測量業務進む
- ◇町民の足、コミュニティバス運行支援
- ◇町営・改良住宅管理（施設維持管理・補修工事）
- ◇木造住宅耐震化促進、補助金 30万円アップ
- ◇「社会保障・税番号制度」に必要なシステム改修



(6) みんなで力を出し合う町づくり

- ◇公共施設等管理計画の策定
- ◇地域のコミュニティ施設の維持、整備に助成

(7) その他

- ◇町制 60周年記念式典、関連各種イベント（ヒマワリの種配布）

特別会計予算

水道事業会計

総額 7億2,486万円
 給水戸数 1万959戸
 年間給水量 320万162 m³
 1日給水量 8,768 m³

国民健康保険特別会計

総額 38億9,849万円

後期高齢者医療特別会計

総額 4億326万円

公共下水道事業特別会計

総額 6億5,328万円

介護保険特別会計

総額 27億6,913万円

事務組合予算

総額 2億5,910万円

分担金及び負担金 1億976万円

(内松前町分 5,503万円)

出身地別措置者数(平成27年3月現在)

松前町… 18人 伊予市… 15人

砥部町… 3人 組合外… 13人



伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合
和楽園

総額 4億7,098万円

分担金及び負担金 2億2,113万円

(内松前町分 1億1,057万円)



伊予市松前町共立衛生組合
塩美園

総額 16億4,534万円

分担金及び負担金 15億1,640万円

(内松前町分 4億2,397万円)



伊予消防等事務組合
各消防署及び聖浄苑

総額 4億5,170万円

分担金及び負担金 3億5,178万円

(内松前町分 1億3,096万円)



伊予地区ごみ処理施設管理組合
伊予地区清掃センター

当初予算
補正予算

委員会
ニュース

予算の使い道を

議員全員で審議



建設予定地

問 ふるさと納税のお礼の品ついて、今後の考えは。

答 今後寄付された人が選択できる方法を検討する。金額を上げることについては考えていない。

問 第4分団の消防詰所建設の計画は。

答 平成27年度に建物の設計、土地の購入、造成を行い、平成28年度内の完成を考えている。

問 公共施設等総合管理計画の取り組みは。

答 全国で施設の老朽化が進んでいるため、国の指示により平成28年度までに作成する。町の施設の管理計画であるため、町が責任をもつて策定するが策定経費の2分の1は特別交付税に算入される。



問 えひめ国体の啓発は。

答 マッキー図柄の顔出し看板を庁舎前に設置し、マスコットキャラクターの配布を行う。

問 地場産業推進事業の今後の計画は。

答 今年度は広島でうまいものフェアを(株)フジと協力して行い、その成果を見て、継続して行いか検討する。

問 廃棄物収集運搬処理費の増額理由は。

答 廃棄物の収集作業員一人当たりの単価が昨年と比べて約5・6%伸びているのが要因である。

問 子ども・子育て支援新制度に伴う幼稚園一時預かり事業の内容は。

答 利用料は、1日当たり一人800円で、保護者負担400円を見込んでいる。町の子ども・子育て支援会議で利用見込み数を検討し1日当たり100人としているが、詳細については、今後検討する。

平成27年度 一般・特別会計 平成26年度 一般・特別会計

問 鉄道安全輸送設備整備費支援事業の内容は。

答 伊予鉄道の郡中線のレールを更新するに当たり公共交通機関のため、県及び沿線の市町が助成する。それにより鉄道事業者が国の補助を受けて実施することができる。



町内の温泉施設

問 介護予防事業費の温泉を取り込んだ事業内容は。

答 町内の温泉施設を活用した事業で、運動や介護予防を行った後、温泉に入ってもらおう。その後、別の予防事業も行う。

問 学校生活支援員の増加の内容は。

答 保護者から要望があり、幼稚園への配置が多くなった。

問 給食センターの小型ボイラーの工事内容は。

答 12年が経ち、故障時の補償がなくなるため2基の内1基を更新するものである。

問 松前町史の編纂計画は。

答 発行までに2、3年はかかる見込みで、今後の計画は準備委員会にて検討していく。

問 公民館の耐震診断後の計画は。

答 耐震診断の結果をふまえ、予算を考慮しながら検討していく。

問 下水道事業受益者負担の件数の増加は。

答 平成27年度の工事予定箇所における接続予定件数であり、今後も訪問や広報などにより接続件数が増加するよう努力する。

意見 大きな予算を使った事業であり、また、海や河川の水質向上を図るためのものだ。もっと啓発活動を推進していくように。

問 水道事業会計が厳しく値上げが必要なら、その前に、経費削減に向け水道の検針を2か月に1回にしたり、浄水場や水源地における電力の自然エネルギーの利用を進めたりすべきではないか。

水道事業会計

答 検診回数の見直し、自然エネルギーの利用について、今後、状況を見ながら検討していく。

意見 水道料金を改定する場合は、年度当初から行うように。また、早めの情報と計画を示すように。



予算決算

委員会
ニュース

26年度補正予算

問 地方版総合戦略の内容は。

答 人口の動向などの基礎調査を委託し、その結果をもとに、職員が平成27年度中に策定する。策定した総合戦略による事業は、成果目標を掲げ、事業を実施し、検証、改善、反映をおこなう。

問 財政調整基金の積立額の基準は。

答 基準額はないが、年度間の財政調整のために積み立てるものであり、町としては、標準財政規模の1割の6億5千万円程度を目標にしている。

問 保育所の耐震診断の状況は。

答 現場での診断作業は終わっており、5月ごろまでに結果が出る見込み。その結果により、改修か建て替えなど判断する。

問 プレミアム付き商品券の取り扱い。

答 県内の消費を喚起する目的のため、公募により取扱店を広く募集する。町のプレミアム商品券発行事業についても、同様の考えでおこなう。

問 繰越明許費で予算額のほとんどが繰越金になつている理由は。

答 国や県などの協議に時間を要するなど、対外的な要因によるものである。今後は、繰越額を少なくしていく。



平成26年度 一般会計補正予算概要

■予算総額 (単位：円)

区分	補正前	補正額	補正後	増減率
本年度	97億3,169万	1億4,909万	98億8,078万	1.5%
前年度	94億2,452万	△1億1,781万	93億 671万	△1.3%
前年度対比	103.3%	226.5%	106.2%	

■松前町一般会計補正予算（第5号）主要事業 (単位：円)

科目	項目	金額
総務費	地方版総合戦略策定	879万
民生費	介護給付	1,134万
	障がい者自立訓練等給付	854万
	国民健康保険特別会計繰出金	1,852万
農林水産業費	J R車両基地・貨物駅等周辺整備対策	1,375万
商工費	商工振興育成対策(プレミアム付き商品券発行)	4,070万
土木費	J R車両基地・貨物駅等周辺整備対策	6,138万

総務 産業建設

① 松前町行政手続条例の改正

要旨

今回の改正は、行政手続法が、行政指導をおこなう場合の根拠の提示義務、行政指導の中止などの求め、法令に違反する行為に対し処分を求めることができるように一部改正されたため、条例も同様に改正する。
(全員一致で可決)

② 松前町特別職の職員の給与に関する条例の改正

要旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育長の身分が一般職から特別職に変わるため、松前町特別職の職員の給与

教育長処遇等の条例を可決

に関する条例に教育長を追加する。付則で既存の松前町教育委員会教育長の給与に関する条例を廃止する。
(全員一致で可決)

③ 松前町教育委員会教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例

要旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、新たな教育長に職務専念の義務が課せられるため、新規に条例を規定する。
(全員一致で可決)

④ 松前町特別職報酬等審議会条例の改正

要旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、教育長の身分が一般職から特別職に変わる。そのため、教育長を特別職報酬等審議会の審議対象とするよう松前町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する。
(全員一致で可決)

⑤ 松前町職員定数条例の改正

要旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正に伴い、松前町職員定数条例の一部を改正する。



問 条例の改正により職員の定数が変わるのか。

答 法律の一部改正により、教育委員会事務局職員の定数を規定する条項が変わったため、条例で法律の条項を引用している箇所を改正するものであり、内容は変わらない。
(全員一致で可決)

委員会 ニュース

放課後児童健全育成事業条例の改定

⑥ 松前町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

要旨

児童福祉法の一部改正に伴い、放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準を、新規に条例の制定する。

問 条例の制定により、何が変わるのか。

答 児童一人当たりの面積が1・65㎡以上になる。また、クラスごとに2人以上の職員を配置するため、環境の改善が図れる。障がいのある児童については、現状でも受け入れているが、放課後児童クラブで受け入れるのがよいのか、他の事業で受け入れるのが良いか、子どものことを第一に考え、保護者と相談しながら対応していく。

(全員一致で可決)

⑦ 松前町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の改正

正

要旨

議案第6号で、松前町放課後児童健全育成事業の設備及び

運営に関する基準を定める条例を制定したことに伴い、重複する条文を削除する。

問 制度上は6年生まで受け入れることとなっている。本町では、現在、3年生までの受け入れとなっているが、6年生まで受け入れられないのか。

答 設備が整い次第、6年生まで拡大する。(全員一致で可決)

(全員一致で可決)

⑧ 松前町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の改正

非常勤の報酬を規定している本条例中、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正により、教育委員長の項目を削除し、松前町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に

要旨

子ども・子育て支援法の施行に伴い、授業料が施設型給付制度に変更されるため、保育料の徴収根拠を規定するとともに、附則において、松前町立幼稚園授業料その他の費用の徴収条例を廃止する。

する基準を定める条例の制定に伴い、放課後児童支援員の項目を追加する。

問 半日勤務の場合の報酬は。

答 支援員の場合は、年間勤務時間が決まっているため、減額はないが、補助員の場合は、時間給で賃金を支払う。

(全員一致で可決)

⑨ 松前町立幼稚園設置条例

要旨

子ども・子育て支援法の施行に伴い、授業料が施設型給付制度に変更されるため、保育料の徴収根拠を規定するとともに、附則において、松前町立幼稚園授業料その他の費用の徴収条例を廃止する。

問

授業料が保育料に変更された経緯は。

答

子ども・子育て支援新制度において、幼稚園、保育所、認定こども園などの施設型給付にかかる費用は、全て保育料から賄うことになったため、授業料から保育料に変わった。(全員一致で可決)

⑩ 松前町立保育所条例

要旨

子ども・子育て支援法の施行に伴い、松前町保育所条例の



全てを改正し、入所資格の認定、入所手続き、及び保育料の徴収根拠などを規定する。

問 障がいを持つ子どもの受け入れ態勢は。

答 基本は、障がいの有無に関わらず、全ての子どもを受け入れる。保育所で受け入れるのが良いのか、他のサービスの利用が良いのか、子どものことを第一に考え、保護者と相談しながら決定する。(全員一致で可決)

介護保険条例の改定

⑪ 松前町保育所における保育に関する条例を廃止する条例

要旨

児童福祉法の改正に伴い、保育所における保育を行なう基準が、子ども・子育て支援法施行規則において定められたため、同様の内容の本条例を廃止する。
(全員一致で可決)

⑫ 松前町子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例

要旨

子ども・子育て支援法の施行に伴い、施設型給付費の利用者負担額を定めた条例を制定する。

問 負担額の区分が所得税額から町民税所得割額に変更されたことによりどのように変わるのか。

答 幼稚園、保育所ともに負担額に変更がないよう設定している。従来の設定より細分化された区分では、負担額が下がる世帯もある。
(全員一致で可決)

⑬ 松前町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例

要旨

介護保険法の一部改正に伴い、従来、厚生労働省令で定められていた包括的支援事業の実施に関する基準を、新規の条例で制定する。

問 町内の第1号被保険者数と地域包括支援センターの人員は。

答 平成26年4月30日時点で8,465人、平成27年度は8,803人、平成28年度は8,988人、平成29年度は9,136人と推計している。町内の第1号被保険者数が現時点で6千人を超えているため、国の配置基準は3名であるが4名としている。9千人を超えた場合は5名となる。
(全員一致で可決)

⑭ 松前町介護保険条例の改正

要旨

介護保険事業計画の策定に伴い、平成27年度から平成29年度の第6期介護保険料を改正する。

問 新たな保険料の周知方法は。

答 ホームページや広報まさきへの掲載、また、改定の通知を送付する。
(全員一致で可決)

⑮ 松前町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の改正

要旨

介護保険法施行規則の一部を改正する省令に伴い、条例の一部を改正する。

問 事故発生時の対応は。

答 事業者にとり、利用者との連絡とともに、事故報告書の提出を義務付けており、状況に応じて県とも連携する。
(全員一致で可決)



子どもたちを待っています(子育て支援センター)

⑯ 松前町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の改正

要旨

介護保険法施行規則などの一部を改正する省令に伴い、条例の運営基準を見直すもの。

問 定員の増加による受け入れは。事業所での事故への対応は。

答 登録定員が増えても、事業所で受け入れができるかどうかは施設により異なってくる。問題点を把握した場合は、実地指導を行なう。
(全員一致で可決)

⑰ 松前町指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の改正

要旨

介護保険法施行規則などの一部を改正する省令に伴い、条例の運営基準について改正する。
(全員一致で可決)

報告事項

① 松前町新型インフルエンザ等対策行動計画

○目的

I 可能な限り感染拡大を阻止して町民の生命の保護と健康被害を最小限にとどめる。

II 町民の生活と経済に及ぼす影響が最少となるよう努める。

○主な措置

・ 愛媛県内外の情報収集

・ 住民への情報提供、共有

・ 予防、まん延の防止
・ 住民の生活及び地域経済の安定に関する対策

② JR北伊予駅自由通路及び周辺整備事業調査特別委員会の中問報告

★ 松前町にとってどのような施設が必要なのか再検討を必要とする。

(詳細は別添の号外版に)

条例一部改正

★議員提出議案第1号

松前町議会委員会

条例の改正

教育委員長と教育長を一本化する。

新たな責任者を置くという条例改正に伴い委員会条例中の「教育委員会の委員長」を「教育長」と改める。

(全員一致で可決)

③⑤ 町長等の給与の特例に関する条例の改正

行政改革の主旨を踏まえて引き続き町長、副町長、教育長の給料月給を平成28年3月31日まで減額する。

(全員一致で可決)

人事案件

③① 松前町教育委員会

委員の任命について任期満了となるため、委員の再任について議会の同意を求める。

坪内 雅子氏(上高柳)の選任を全員一致で同意。

③② 人権擁護委員候補者の推薦について

任期満了に伴う後任委員の推薦について議会の同意を求める。

田中 安男氏(大溝)の推薦を全員一致で同意。

③⑥ 松前町監査委員の選任について

岡本監査委員の退任のため、後任委員の選任について議会の同意を求める。

安永 紀雄氏(西古泉)の選任を全員一致で同意。

③⑦ 副町長の選任について

栗田副町長の任期満了に伴う後任副町長の選任について議会の同意を求める。

岡本 靖氏(北川原)の選任を全員一致で同意。

③⑧ 松前町教育委員会教育長の選任について

永見教育長の退任のため、後任教育長の選任について議会の同意を求める。

本馬 毅氏(筒井)の選任を全員一致で同意。

★ 伊予市外二町共有

物組合議会議員を指名推選で選出

● 議員辞職

村井慶太郎議員から愛媛県議会議員に立候補するため、平成27年3月31日付けで議員辞職願が提出され許可されました。

その他

③③ 債権の放棄について

内容
使用済みペットボトルの売買契約における未回収金の放棄。

・ 放棄の理由
債務者の破産手続きが終了したため。

(全員一致で可決)

③④ 土地改良事業の施行について

・ 事業名及び概要
かんがい排水事業 (大溝)

揚水施設改修 (全員一致で可決)

えひめ国体第1回松前町実行委員会開催

去る3月20日、役場大会議室で『愛顔つなぐえひめ国体』の開催に向けて、実行委員会の意思決定組織である常任委員会に議員5名が出席した。

平成26年の第1回総会からこれまでの経過概要が説明され、これからの開催準備総合計画案が上程された。

また、部門別(総務企画、競技式典、宿泊、衛生、輸送交通、その他)





白石町長

新企画

町制施行60周年を経て、松前丸のかじ取りは

インタビュー 町長に聞く

聞き手 議会広報常任委員会
藤岡委員長・松本副委員長

藤岡 町制施行60年をどのように考えるか。

造語である。

今の市町村はダメ

町長 人も長寿の時代だ。60年は区切り、節目とはいっても通過点である。未来に向けての出発とした

きない。

地方を元気にしよう、原点から考えようなら理解できる。

い。

松本 地方創生という

藤岡 人口減少対策をどのように考えるか。

町長 国が何を言おうとしているのか解りにくい。地方創生は

町長 松前町は歯止めではなく、人口を増やす方向で考えていく。

目標は3万5千人。住みやすくて良い町

藤岡 安心して子育てできる町への考えは。

町長 義務教育時の医療費無料化は必要だ。統廃合予定の保育所も町営で実施できればと考えている。

松本 松前町への想いは。

町長 教育の町宣言をしている松前町を「人のために」の義農精神を共有している町にしたい。未来への礎には、

藤岡・松本 議会も共に松前丸を進めていきたいですね。今日はありがとうございました。

松前町・岡田村・北伊予村ではなく、松前町は一つだ。「次を目指していこう」を合言葉にしたい。

藤岡 自然を守りながら企業誘致などで、調和の取れたまちづくりをしていきたい。

自然を守りながら企業誘致などで、調和の取れたまちづくりをしていきたい。

自然を守りながら企業誘致などで、調和の取れたまちづくりをしていきたい。

自然を守りながら企業誘致などで、調和の取れたまちづくりをしていきたい。



伊賀上明治議員



三好勝利議長

全国町村議会議長会及び愛媛県町村議会議長会において地方自治の進展に顕著な功績があった三好勝利議長と伊賀上明治議員が自治功労者表彰を受賞されました。

自治功労者表彰

議員在職16年

おめでとうございます

提出議案などの各議員 賛否表

※ △議長 ○賛成 ●反対

議案番号・議案名など		議員名												
		稲田輝宏	加藤博徳	寺下武	八束正	藤岡緑	村井慶太郎	早瀬武臣	松本一二美	澤田登代一	岡井馨一郎	伊賀上明治	三好勝利	木下淳
19	松前町水道事業の水道の布設工事監督者を配置する対象工事並びに布設工事監督者及び水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
20	松前町消防団条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
21	平成26年度松前町一般会計補正予算（第5号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
22	平成26年度松前町国民健康保険特別会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
23	平成26年度松前町介護保険特別会計補正予算（第4号）について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
24	平成26年度松前町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
25	平成27年度松前町一般会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
26	平成27年度松前町国民健康保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
27	平成27年度松前町後期高齢者医療特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
28	平成27年度松前町介護保険特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
29	平成27年度松前町公共下水道事業特別会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
30	平成27年度松前町水道事業会計予算について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
31	松前町教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
32	人権擁護委員候補者の推薦について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
33	債権の放棄について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
34	土地改良事業の施行について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
35	町長等の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
36	松前町監査委員の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
37	副町長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
38	松前町教育委員会教育長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
—	議員の辞職の件	○	○	○	○	○	除斥	○	○	○	○	○	△	○

※議員の辞職の件について、村井慶太郎議員は、地方自治法第 117 条の規定により除斥となっています。



3月定例会

※ △議長 ○賛成 ●反対

議案番号・議案名など		議員名											
		稲田輝宏	加藤博徳	寺下武	八束正	藤岡緑	村井慶太郎	早瀬武臣	松本一二美	澤田登代一	岡井馨一郎	伊賀上明治	三好勝利
提 1	松前町議会委員会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
1	松前町行政手続条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
2	松前町特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
3	松前町教育委員会教育長の勤務時間、休暇等及び職務に専念する義務の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
4	松前町特別職報酬等審議会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
5	松前町職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
6	松前町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
7	松前町放課後児童クラブの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
8	松前町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
9	松前町立幼稚園設置条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
10	松前町立保育所条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
11	松前町保育所における保育に関する条例を廃止する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
12	松前町子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
13	松前町包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
14	松前町介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
15	松前町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
16	松前町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
17	松前町指定介護予防支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
18	松前町公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○

4議員が登壇

◆赤字項目は、本文で紹介しています。

藤岡 緑 議員 (17ページ)

- ◆女性の活躍推進に町としての支援は
- ◆「ふるさと納税」の積極的アピールの考えは
- ◆「地方創生」でのまちづくりの考えは
- ◆今後のインフルエンザ対策は

松本 一二美 議員 (18ページ)

- ◆湧水地公園つなぐ遊歩道・自転車周遊の取り組みは
- ◆松前公園体育館前の広場を駐車場に
- ◆プレミアム商品券の取り組みは
- ◆地方公会計に複式簿記導入の考えは
- ◆商工会関連の「ふれあい館・街路灯事業」の今後は
- ◆マイナンバー制度の取り組みと見解は

木下 淳 議員 (19ページ)

- ◆心に残る60周年記念事業を
- ◆町長選で色々な動きがあるが今後の政策への影響は

加藤 博徳 議員 (20ページ)

- ◆町制60周年記念を迎え今後の政策は
- ◆教育委員会制度変更による影響は
- ◆地域における事業実施の地域負担金は



いっぱん
質問

町政を問う

一般質問とは・

- ・ 議員が町の行政全般について質問し、町長や部長などが答弁するものです。
- ・ 議員一人あたりの発言時間は45分以内です。
- ・ 登壇は、通告書(質問内容を要約した書類)の提出順に行われます。



やる気と可能性を伸ばすパソコン教室に期待！



藤岡 緑 議員

女性の活躍推進に町としての支援は

就職、再就職に役立つパソコン教室の開設

問

国では『すべての女性が輝く社会』の実現のために様々な施策を打ち出している。就労女性だけでなく子育てや家事でこれから就職、再就職を希望、実現化していく女性たちに町としての支援策は。

教育長

国の『女性のチャレンジ応援プラン』が、その一つだ。子育て中でも安心して仕事探しや就職ができるように、また、資格を生かした再就職、これまでの経験を生かした地域貢献などを支援するプランだ。

市町が実施する就職、再就職に関する事業は補助の対象にはならないが、相談に来られた方への窓口紹介など積極的支援は行う。また、新たに学習会での研修や就職、再就職に役立つパソコン教室の開設などを予定している。

「ふるさと納税」の積極的アピールの考えは

『選べる特産品』などの導入についても検討

問

「ふるさと納税」は全国的に定着してきているが、寄付金額が県内市町で最下位である。町としてアピールの方法など、今後の考え方を問う。

総務課長

ふるさと納税の本来の趣旨からすると、過度なお礼の品は馴染まないと思うが、応援してくれた方へのお礼の気持ちとして町の魅力をたくさん感じてもらえるように、『選

べる特産品』などの導入についても検討をしている。町制60周年を機に各地の県人会との連携を図り、町外で暮らすご家族の方々に呼びかけるなど、松前への思いを高めていく事も考えている。



松本 一二美 議員

湧水地公園つなぐ遊歩道・自転車周遊の取り組みは

サイクリングコースは安全に走れるよう整備する

問

「水きらめき 笑顔あふれる ライフタウン・まさき」

水きらめく象徴が、町自慢の湧水公園だ。いつ訪れても素敵な

湧水地公園「ひよこたん・有明・福徳泉」をつなぐ遊歩道・自転車周遊の取り組みの考えは。

湧水地として、もう一箇所、出作湧水地がある。サイクリング構

想の地点として、出作の湧水地を公園化する考えは。

町長

県の提唱をうけ、選定しているサイクリングコースは、安全に走れるように時間をかけて整備

する。

出作の台地泉は、事業実施の準備はできているが、財政難のため補助金の活用ができれば取り組み。完成すればサイクリングコースに取り入れた

松前公園体育館前の広場を駐車場に

駐車場としての活用を検討する

問

日常的に町の駐車場は満杯状態で、利用者が困っている。

松前公園体育館前の広場と、隣接する老人広場も含めて、この貴重な広場一帯を町の駐

車場として改修することを提案するが、町としての見解は。

副町長

体育館南側町道からの進入路を設置し、体育館前の広場と老人広場を、

駐車場としてどのように活用できるか検討する。



木下 淳 議員

心に残る60周年記念事業を

豊かな自然や文化を継承し、未来に向けて発信する

問

昭和30年に合併し、今年で60周年を迎える。合併当時は、東レの従業員も多く、松前商店街も賑やかで、新立、本村も人口が多く活気に満ちていた。時代の流れとともに、町の中心が役場周辺となり、時代の移り変わり

を実感しているところである。記念すべき合併60周年にあたり、心に残る記念事業を期待したいものだが、どのような記念事業を考えているのか。

総務課長

記念事業は、「松前町

町制施行60周年記念事業実行委員会」を設置し検討した。
4月28日に記念式典を開催し、その後、プレミアム付商品券発行、NHK全国放送公開番組、サイクルフェスタ、義農精神を繋ぐワークショップ事業を予定している。

町長選で色々な動きがあるが今後の政策への影響は

4期目を全うすることと専念する

問

昨年12月26日に東古泉と神崎推薦の議員が町長室を訪問。「次期町長選は現県議を応援します。神崎の議員より、次は議員を引きます。町長も60周年を機に考えては」と話をしたようだ。また、昨年末に県議か

ら「町議か新人のどちらかを自民党松前支部で推薦し、新しい県議のもとに私が町長選の推薦を受けることになっている」との話があった。これらの動きの中で、今後の政策に影響があるか伺いたい。

町長

個々の動き、内容への言及は差し控える。「見える、わかる、クリーン」を基本に、誰もが住んでよかった、住みたいと思える、笑顔あふれるライフタウン・まさきに全力で取り組み、4期目を全うすることに専念する。



加藤 博徳 議員

町制60周年記念を迎え今後の政策は

先人たちが守り残した自然・文化を伝承する

問

白石町政4期16年にわたり松前町の先導役として来られたが、町制60周年を迎え、えひめ国体など含め今後の思いと政策は。

町長

町制60周年は、人生に例えると還暦にあたり、新たな出発を意味する。これまで先人たちが守り残してきた豊かな自然や文化を継承しながら、松前町が未来に向けて、益々、輝いている町にしたい。

教育委員会制度変更による影響は

問

以前から論議されていた教育委員会制度の抜本的な改革がこの4月から実施されるが、この事による学校現場、地域、家庭への影響と効果は。

教育長

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、本年4月1日から、新教育委員会制度が施行される。
教育委員長を廃止し、改正後は、教育長は議会の同意を得た後、直接町長から任命され、「教育長」が教育委員会の代表となって会議を主宰する。
町長は、教育委員会と協議して「教育に関する総合的な施策の大綱」を策定することになる。
従来から町長と教育委員会と学校長との間で教育推進懇話会を開催し、情報交換をしているので、新制度の総合教育会議にはスムーズに移行ができる。

町民の声

認知症

K・F

認知症は、一番なりたくない病気ではありませんか。

早期発見、早期対応と

言うけれど、それでも病院の門をくぐるまでには時間がかかります。超高齢化社会になり、皆が皆、病院で看取られて最期を迎えるようにはいかなくなっていきます。今こそ自分の住んでいる隣近

所や地域の繋がりが大事な時ではないでしょうか。お互いを知り、心配り・目配りをし、高齢家庭や認知症を抱えている家族と共に暮らしながら地域で支えあつていくことが大事です。

「そういえば・・・」などと後悔することが無いように、皆で繋がりを持ちましょう。

挨拶や雑談をしているうちに「そういった最近見ないね」「服装がここんどこずっと同じだし、ごみも置いたままだね」とか、何時もと違うことに気が付くかもしれません。事が起こってから

「最近読んだ本に「ぼけないためには『きょうよう』と『きょうい』が必要だ」とありました。『きょうよう』は「教育」ではなく「今日用がある」また『きょうい』とは「教育」ではなく「今日行くところがある」ってこと。これです。

何でも良いのです。例

えば、今日はライブラリーに行ってみよう。今日は松前公園を二周する日だとか。生活習慣病を予防・治療して、健康的な生活を送ることが認知症予防のポイントだと思えます。



町民の声募集

ご意見・ご要望などをお寄せ下さい。

(500字程度で必ずお名前・ご住所・ご連絡先をお書きください。)

【宛先】

松前町筒井631
議会広報常任委員会
「町民の声」

Fax 985-4148

E-mail:

500gikai@town.masaki.ehime.jp

傍聴席

町議会の一般質問を傍聴して

住み続けたい松前人

久しぶりの傍聴だった。

4人の議員の一般質問があり、女性議員2人が真面目に肅々と質問し、役場の方も答えた。野え、なんだか静か。野

次もなし皆おとなしい。以前は私語や野次があったのに。女性議員に野次を入れたらどこかの様になるからかな。

男性議員の番になった。内容が要旨と離れておかしいと思ったら、短い野次がはいった。議長が議事を妨げる発言はやめるようにと事務局に規則を読ませその議員を諫めた。

議会が静かになつたのは、質が向上したのではなく違う嫌がらせになつたようだ。

これでは、皆が参加できる議会ではない、以前のうちの一人だけのものでは無い。がっかりし悲しかった。

パソコンから傍聴

一般質問をライブ傍聴して

U・Y

今回、初めて一般質問のライブ中継で傍聴しました。自宅のパソコンで議場へ出向かず傍聴できる便利さが分かりました。しかし、「何の予備知識なく傍聴しても理解しにくいなー」と思いました。

また、当日の質問内容がフリックなどで映してもらえとより理解し易いのでは、と思いましたが、色々質疑がありましたが、街路灯のLED化は玉切れ、電気代、照度悪化に有利であり、積極的に進めてもらいたいと思いましたが。



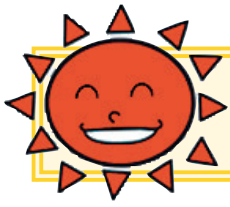
傍聴のご案内

住所・氏名・年齢を届けるだけで、どなたでも自由にできます。

松前町議会は、本会議と各常任委員会の傍聴席を設け一般公開しています。

多くのみなさんの傍聴を庁舎5階でお待ちしております。

(次回は6月中下旬の予定です。)



松前町で生きる & みんなで支える

安全・安心なパンを目指して

学生時代に住んでいたアパートの大家さんがパン教室の先生でした。

パン教室から漂ってくるパンの香りに魅せられてパン屋さんを目指しました。

製パンの専門学校を卒業しパンの世界に。

3年前実家のある出作に戻り1年5ヶ月前に

中川原でパン屋を開業しました。

実家の畑で収穫された野菜はもちろん、

愛媛松前のものでパンを作ること目標に

安全、安心なパンを提供できるように、頑張ります。

店主 西村敏広



まちの話題 掛川和子さんに聞く

琴の演奏暦参55年、今では生田流正派邦楽会大師範の資格を持ち、本年度から本部長に選ばれた西古泉の掛川雅瑞（和子）さん。

美しい日本の伝統音楽が継承されにくくなってきているので、若い人にこの伝統と情操教育の継承を願っています。この思いから週末に自宅で女子小中学生と大人に、一人

1時間程度の指導をしています。その成果を文化祭や松山の大手ステージでの発表会につなげるため日々『けいこ』に励んでいます。

また、その節には琴の美しい音色を皆さんにお届けできればと願っています。そんな掛川さん、心の成長をもめざす指導には私も感銘しました。

♪～
伝統の音色を
みんなに届けたいわ♪



編集後記

平成27年度当初予算が決まりました。防災、少子化対策、産業振興など多岐に渡っています。「水きらめき笑顔あふれる ライフタウン・まさき」を目指し、第4次総合計画の実現に向けた予算配分となっています。また、町制施行60周年記念イベントも予定していますのでご参加よろしくお願ひします。

(寺下 武)

議会広報常任委員会

- 委員長 藤岡 緑
- 副委員長 松本二美
- 委員 八束 正
- 委員 寺下 武
- 委員 加藤 博徳
- 委員 稲田 輝宏



この広報紙は、資源保護と環境に配慮して大豆油インキ、再生紙で作成しています。

